

I 第40週の発生動向 (2011/10/3~2011/10/9)

- 手足口病については、東地方+青森市保健所、八戸保健所及び上十三保健所管内において第31週から、むつ保健所管内において、第32週から**警報**が継続しています。
- 流行性耳下腺炎については、上十三保健所管内において、第39週から**注意報**が継続しています。

II 第40週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ														0					
(74) RSウイルス感染症			5	0.6	3	0.3	2	0.4	2	0.3			12	0.3	2				
(75) 咽頭結膜熱	1	0.1	2	0.2									3	0.1	3		1	0.1	
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.4	7	0.8	2	0.2					2	0.5	15	0.4	1	1	1.0	3	0.4
(77) 感染性胃腸炎	23	2.6	3	0.3	3	0.3			2	0.3	5	1.3	36	0.9	3	9	9.0	14	1.8
(78) 水痘	6	0.7	2	0.2	12	1.3	1	0.2	17	2.8	14	3.5	52	1.2	23			6	0.8
(79) 手足口病	25	2.8	4	0.4	20	2.2	9	1.8	37	6.2	22	5.5	117	2.8	-81			25	3.1
(80) 伝染性紅斑					1	0.1							1	0.0	-2				
(81) 突発性発疹	3	0.3	2	0.2	1	0.1			9	1.5	3	0.8	18	0.4	-3			3	0.4
(82) 百日咳									2	0.3			2	0.0	2				
(83) ヘルパンギーナ	8	0.9	7	0.8			2	0.4			7	1.8	24	0.6	-33			8	1.0
(84) 流行性耳下腺炎	5	0.6			19	2.1			21	3.5	2	0.5	47	1.1	-14	1	1.0	4	0.5
(86) 急性出血性結膜炎					1	0.5							1	0.1	1				
(87) 流行性角結膜炎					2	1.0			7	3.5	1	1.0	10	1.1	8				
(92) クラミジア肺炎														0					
(93) 細菌性髄膜炎														0					
(95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	7	7.0	1	1.0			3	3.0	13	2.2	-2				
(96) 無菌性髄膜炎							1	1.0					1	0.1	-1				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：東地方1人、八戸1人、上十三4人(23年計:326人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・無菌性髄膜炎患者2名(髄液、9/13、9/16)・・・**エコーウイルス6型**：五所川原(1)、**コクサッキーウイルスA9型**：五所川原(1)
- ・ロタウイルス腸炎患者1名(直腸ぬぐい液、8/8)・・・**ロタウイルス**：弘前(1)
- ・下気道炎患者1名(咽頭ぬぐい液、8/8)・・・**RSウイルス**：八戸
- ・手足口病患者1名(直腸ぬぐい液、9/19)・・・**コクサッキーウイルスA16型**：八戸

感染症の窓

マイコプラズマ肺炎 (五類定点把握疾患)



※定点数は全国で約500カ所

図 国内の週別 届出数推移

出典：国立感染症研究所 IDWR 第38週

※肺炎マイコプラズマ：Mycoplasma pneumoniae

マイコプラズマ肺炎の病原体は、肺炎マイコプラズマ*で、自己増殖可能な最小の微生物で細菌に分類されます。晩秋から早春にかけて感染症発生動向調査における報告数が多くなり、罹患年齢は、幼児期、学童期、青年期が中心です。潜伏期間は2~3週間で、初発症状は、発熱、全身倦怠感、頭痛などです。咳は初発症状出現後3~5日から始まることが多く、当初は乾性の咳ですが、経過に従い徐々に強くなり、解熱後も長く続きます。特に年長児や青年では、後期に湿性の咳となることが多いです。他に鼻炎症状、声のかすれ、耳痛、咽頭痛、消化器症状、胸痛、喘息様気管支炎等の症状が見られることもあります。肺炎にしては元気で一般症状も悪くないことが特徴とされてきましたが、重症肺炎となることもあります。

感染様式は、飛沫感染と濃厚な接触感染です。感染予防には、手洗い、うがい、患者との濃厚な接触を避けることが大切です。(IDWR 国立感染症研究所「感染症の話」参考)

国内では、定点当たり患者数が過去5年間の平均より多い状況が続き、今後の県内の発生動向に注意が必要です(図)。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です） 単位：人 2011年第21週～第39週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
21	H23.5.23 ~ H23.5.29			つつが虫病1人			
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	つつが虫病2人					
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	つつが虫病1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	つつが虫病1人	
24	H23.6.13 ~ H23.6.19		梅毒1人	急性脳炎1人			
25	H23.6.20 ~ H23.6.26		腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人 梅毒1人	つつが虫病1人
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	つつが虫病2人	つつが虫病2人			梅毒1人	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10					後天性免疫不全症候群1人	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	レジオネラ症1人 破傷風1人	腸管出血性大腸菌感染症2人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
29	H23.7.18 ~ H23.7.24		腸管出血性大腸菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31		腸管出血性大腸菌感染症3人 後天性免疫不全症候群1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
31	H23.8.1 ~ H23.8.7					つつが虫病1人	
32	H23.8.8 ~ H23.8.14						
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		腸管出血性大腸菌感染症1人				
34	H23.8.22 ~ H23.8.28		腸管出血性大腸菌感染症1人 細菌性赤痢2人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
35	H23.8.29 ~ H23.9.4		後天性免疫不全症候群1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
36	H23.9.5 ~ H23.9.11						
37	H23.9.12 ~ H23.9.18	麻しん1人					アメーバ赤痢1人
38	H23.9.19 ~ H23.9.25			梅毒1人			
39	H23.9.26 ~ H23.10.2						

VI 結核(二類全数把握疾患) 単位：人 2011年第21週～第39週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
21	H23.5.23 ~ H23.5.29	1		5	3	3	
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	2	2		1	1	
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	1	2		2		
24	H23.6.13 ~ H23.6.19	1	5	5	2		
25	H23.6.20 ~ H23.6.26	1	1	8	1	6	3
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	1	1	2		1	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10		3	10		6	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	1		10	1	3	
29	H23.7.18 ~ H23.7.24	1	1	3		4	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31	1	1	3	2		3
31	H23.8.1 ~ H23.8.7	2		3	2	5	
32	H23.8.8 ~ H23.8.14	3		3	2	1	
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		1		1		1
34	H23.8.22 ~ H23.8.28			7		3	2
35	H23.8.29 ~ H23.9.4		1		4	1	
36	H23.9.5 ~ H23.9.11	2	6	1	3	1	2
37	H23.9.12 ~ H23.9.18	1	1	3		1	
38	H23.9.19 ~ H23.9.25	2		2			
39	H23.9.26 ~ H23.10.2	5		2	1	1	1

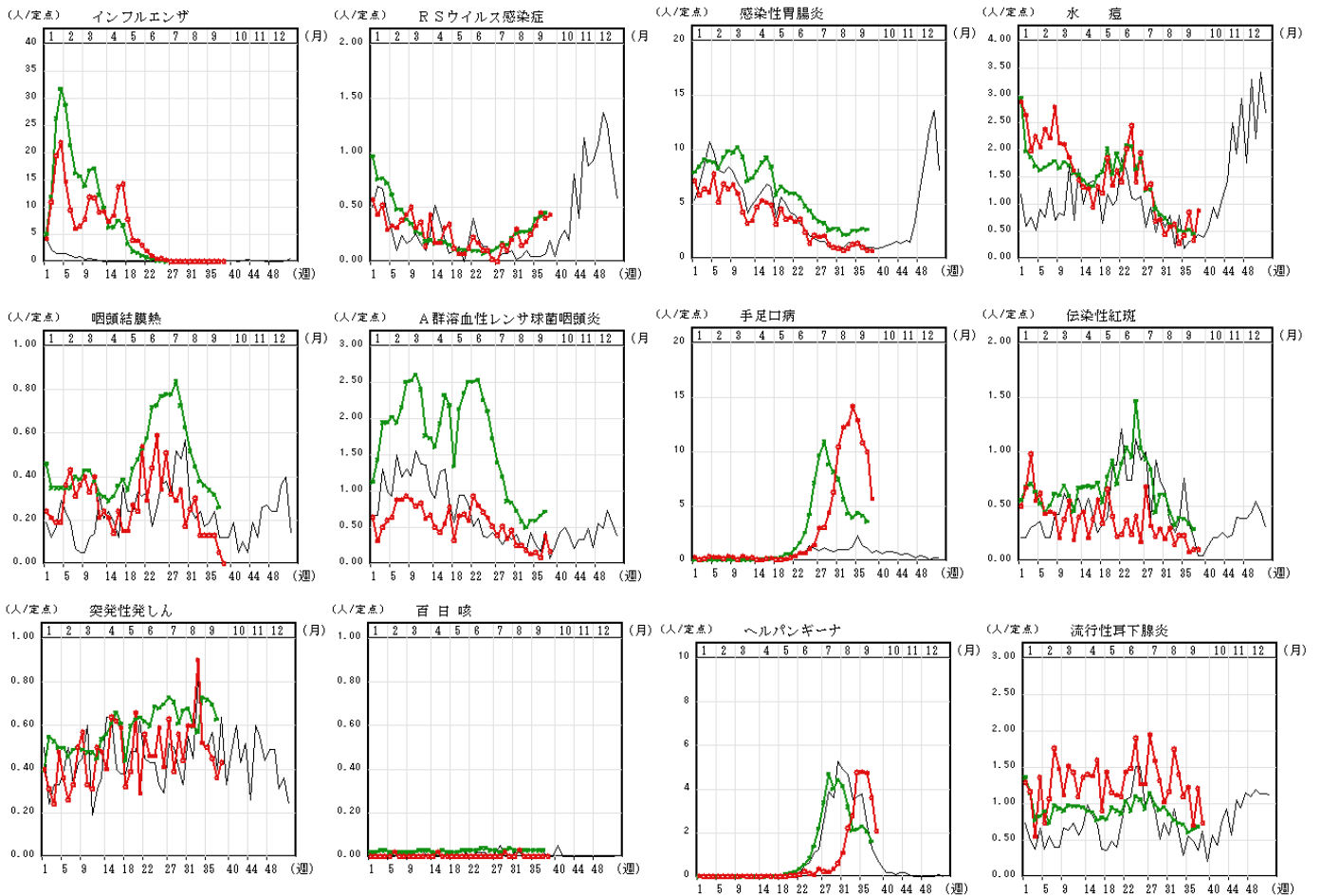
VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

2011年10月11日17時00分集計速報値

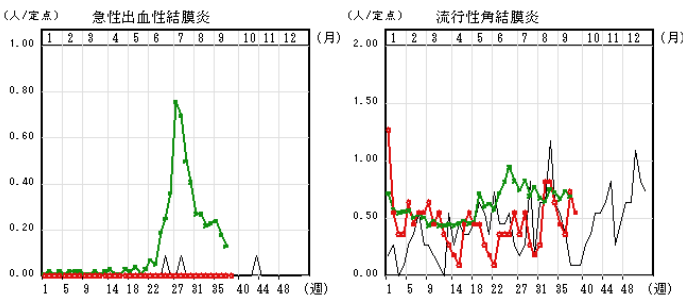
	二類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病	コクシジオデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリス症	マラリア	ライム病
全国	1	22908	8	227	3250	18	20	48	155	13	11	2	6	170	80	111	5	3	58	6
青森県	0	322	0	2	22	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0
	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん		
全国	2	587	17	615	191	202	7	98	159	1088	51	7	1	570	89	44	325	398		
青森県	0	2	0	2	0	2	0	1	2	4	0	0	0	6	2	1	0	1		

グラフの説明 ○—○は2011年青森県、——は2010年青森県、○—○は2011年全国

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2011年第39週



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 2011年第39週



X 基幹定点把握疾患週別推移 2011年第39週

